

平成27年10月10日(土)～11月8日(日)

特別展

信州の祈りと美

善光寺から白隠、春草まで

- ◎美術講座「新しい仏画と春草」
10月12日(月祝) 午後1時30分—
講師 横村洋介 (当館学芸員)
- ◎特別講演会
「信州の祈りと美 善光寺信仰を中心に」
10月18日(日) 午後1時30分—
講師 織田顕行 (当館学芸員)
- ◎絵解き「善光寺如来絵伝の絵解き」
11月3日(火祝) ①午後1時30分—
②午後2時30分—
絵解き口演 小林玲子氏
(絵解き口演家・長野郷土史研究会副会長)
〔※会場はいずれも当館講堂〕

重要文化財 善光寺縁起絵(第3幅目部分) 東京・根津美術館

iida city museum
飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7
TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252
<http://www.iida-museum.org/>

開館時間
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日
10月13日、19日、26日、11月2日、4日

観覧料
大人500円(400円)、高校生300円(250円)
小中学生200円(150円) ※カッコ内は20人以上の団体料金

主催
飯田市美術博物館、文化庁 [平成27年度文化庁重要文化財等公開促進事業]

文化庁

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

特別展

信州の祈りと美

善光寺から白隠、春草まで



浄土七宝蓮池図 徳譽源道(原天龍)筆 飯田市・淨玄寺

広大な面積を誇り、峠を越えることに異なる気候風土にめぐり会える信州の地は、祈りの美の系譜もまた多様です。

このたびの展覧会は、飯田市美術博物館の調査研究成果を踏まえ、信州にゆかりのある既知の作品だけでなく、今後注目すべき信仰の造形をあわせて紹介し、当地における祈りと美の特質の一端を浮き彫りにしようとする試みです。

折しも平成二十七年は善光寺御開帳の年。本展では、これにあわせて全国に広く発信されたこの善光寺信仰が生み出した祈りの美に触れるところから紹介を始めていきます。続いて近世に眼を転じ、伊那谷の民衆を教化した臨濟宗中興の祖・白隠慧鶴の禅画墨跡と、各地で確認される在地仏師勇躍の一例として仏師井出家が制作した仏像を取り上げます。さらに、それぞれの時代の特質がいつそう際立つよう明治以降の作家まで目配りし、近代化のうねりの中にあつてそれぞれに仏教の世界観を表現しようとした画僧源道和尚(天龍道人)と画聖菱田春草を中心とする近代日本画壇の巨匠たちの作品を紹介します。

観覧する皆様が、未知・既知の作品から新鮮な感興やひらめきを得て、それぞれの「信州の祈りと美」を見いだす契機となれば幸いです。

※会期中展示替えがあります。



重要文化財 阿弥陀三尊像 いわき市



臨濟・隻履達磨・雲門図 白隠慧鶴筆 下伊那郡松川町・瑞応寺



重要文化財 阿弥陀聖衆来迎図 長野市・善光寺大本願



「釈迦と魔女」横山大観筆 長野県信濃美術館



「乳糜供養」菱田春草 長野県信濃美術館

主な展示作品

- 重要文化財 阿弥陀三尊像 鎌倉時代 東京国立博物館(※展示期間は10月25日まで)
 - 重要文化財 阿弥陀三尊像 鎌倉時代 いわき市
 - 重要文化財 善光寺縁起絵 鎌倉時代 東京・根津美術館
 - 重要文化財 善光寺如来絵伝 鎌倉～南北朝時代 愛知・妙源寺(※展示期間は10月25日まで)
 - 山梨県指定文化財 善光寺如来絵伝 室町時代 山梨・善光寺
 - 重要文化財 阿弥陀聖衆来迎図 鎌倉時代 長野市・善光寺大本願
 - 臨濟・隻履達磨・雲門図 白隠慧鶴筆 宝暦7年(1757) 下伊那郡松川町・瑞応寺
 - 長野県宝 隻履達磨図 白隠慧鶴筆 宝暦7年(1757)頃 下伊那郡下條村・龍獄寺
 - 重要文化財 「不動明王」狩野芳崖筆 明治20年(1887) 東京藝術大学大学美術館(※展示期間は10月25日まで)
 - 重要文化財 「乳糜供養」「釈迦と魔女」菱田春草・横山大観筆 明治36年(1903) 長野県信濃美術館
 - 「寂靜」菱田春草筆 明治43年(1910) 長野県信濃美術館
- 全40件80点余を出品予定

アクセス



○交 通：JR飯田駅から徒歩20分、中央道飯田ICから車15分
高速バス「飯田商工会館」停留所から徒歩5分